

ペリーロードを核とした開国の港町

1. 目指すべき景観像

伊豆半島が誇るペリーロードを核とした
歴史を感じさせる街並みが残る 開国の港町下田

① 開国の風情漂う街並みが残るペリーロード



② 昔からの港町を今に伝える歴史的街並み

2. 地域特性と景観形成の方向性

2

ペリーロードを核とした港町は、「開国の風情漂う街並みが残るペリーロード」と「昔からの港町を今に伝える歴史的街並み」の2つの側面があるため、それぞれについて地域特性及び景観づくりを進める方向性を整理します。

① 開国の風情漂う街並みが残るペリーロード

(1) 歴史



幕末の歴史を思い起こさせる沿道景観

ペリーロードは、幕末の嘉永7年（1854年）に、ペリー提督が軍楽隊を率い行進した歴史にちなみその名で呼ばれています。敷石やガス灯などが整備され、平滑川の両岸に柳並木が続く歴史を感じることできる、下田を代表する場所となっています。江戸時代には役人や船宿・漁業などを営む人々が住むまちとなり、地区周辺には開国の舞台となった了仙寺や長楽寺などの寺院が点在しています。



開国の風情漂う街並み景観が残るレトロな空間

平滑川をはさむ石畳の小道沿いにはなまこ壁や伊豆石造りの家並みが続き、開国の風情漂う雰囲気を感じさせています。また、沿道にはアンティークショップやカフェなどが軒を連ねており、年間を通して多くの観光客を楽しませています。しかし、店同士の連携が少ないなど、店舗全体でのまとまりが乏しい状況にあります。今後も多くの観光客を楽しませる空間としていくために、通りを構成する店舗が協力して賑わいを演出するなど、趣と歴史を感じる街並みを保全するための地域のルール作りが必要です。

(2) 住民活動



川をきれいに保つために行われている清掃活動

石積みの護岸や川沿いの柳並木など風情を感じさせている平滑川には、街並みに配慮した特徴的な意匠の橋や、川へ至る小さな空間も整備され、水辺に親しめる空間が演出されています。こうした景観は、地域住民の清掃により綺麗に保たれ、川沿いの樹木や花々、プランターなどがさらに彩りを添えています。

川や花の手入れ、ボランティアガイドなど、地域住民の積極的な活動が行われているものの、担い手の減少や高齢化が課題となっています。今後も継続していくことができるよう、地域の取組を行政が支援していくことが必要です。

〈景観形成の主な課題〉

- ・ペリーロードをより楽しめる景観の維持保全
- ・空き店舗の活用、店舗どうしの連携によるにぎわいの創出

② 昔からの港町を今に伝える歴史的街並み

(1) 街並み



歴史の趣を感じさせる多くの建造物

ペリーロードや旧町の中には、なまこ壁や石造りの建物もいくつか点在しています。しかし、近年では空き家もいくつかみられるため、こうした歴史を感じさせる建物などの貴重な資源を適切に管理・保全し、さらに活用していくことで、訪れる人を魅了する空間づくりに繋がっていくものと思われます。

ペリーロードだけではない開国の港町下田の歴史的まちなみ

下田の旧町と呼ばれる街並みは、港町として発展し、海に直行する道路がその先の寺院の参道となっているなど、特徴的な街割りを形成しています。さらに、まちなかには明治・大正・昭和などに建てられた多くの伝統的建築物が点在しています。

観光客が地域の文化や歴史に触れ、より楽しむことのできる空間としていくために、こうした貴重な資源を適切に保全するとともに、ペリーロードと一体となってゆっくり歩いて周遊できる散策路や休憩できるスポット等を整備する必要があります。

また、旧町からペリーロードにかけては車の乗り入れも多くなっており、散策する観光客にとって危険な状況も見受けられます。こうした乗り入れや交通の規制を検討するとともに、旧町内の適所に駐車場の整備や案内を行い、歩いて楽しめる街並みづくりを行う必要があります。

〈景観形成の主な課題〉

- ・点在する歴史的建造物の保全
- ・ペリーロード、港町全体の一体的な回遊性の向上




地域特性や景観づくりの方向性から、改めて目指すべき景観像と景観目標を整理します。

伊豆半島が誇るペリーロードを核とした 歴史を感じさせる街並みが残る 開国の港町下田


目標1

開国の風情漂う
街並みが残る
ペリーロードを
楽しめる景観づくり



目標2

昔からの港町を
今に伝える街並みを
育む景観づくり



景観づくり方針

- ①風情あるペリーロードの散策を楽しめる場づくり
- ②賑わいある店舗の連携体制づくり

景観づくり方針

- ①港町の歴史を活かした異国情緒ある景観づくり
- ②街並み全体の回遊性を高める仕組みづくり

目標1 開国の風情漂う街並みが残るペリーロードを楽しめる景観づくり

方針1-① 風情あるペリーロードの散策を楽しめる場づくり

	取組み	実施主体
短期	●ペリーロードの柳の適正な管理	●市、
中・長期	●街並みと川の景観を阻害する電線・電柱の撤去、通景への配慮	●市、事業者

方針1-② 賑わいある店舗の連携体制づくり

	取組み	実施主体
短期	●空き家、空き店舗の適正な管理・活用 ●店舗どうしの連携体制の構築	●市、地域住民 ●市
中・長期	●賑わい創出のための店舗の地域ルールの策定検討	●市、事業者 ●市、事業者

目標2 昔からの港町を今に伝える街並みを育む景観づくり

方針2-① 港町の歴史を活かした異国情緒ある景観づくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 補助制度等の有効活用による歴史的建造物の保全 ● 景観重点地区の指定 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市、地域住民 ● 市、地域住民
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史的街並みの保全のためのガイドラインの策定 ● 稻生沢川沿い（大川端）の護岸の景観整備 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市、地域住民 ● 市

方針2-② 街並み全体の回遊性を高める仕組みづくり

	取組み	実施主体
短期	<ul style="list-style-type: none"> ● 散策ルートの整備 ● 観光パンフレットの更新・周知 ● ボランティアガイドの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市、地域住民 ● 市、関係団体 ● 関係団体
中・長期	<ul style="list-style-type: none"> ● 周遊ルートの舗装整備 ● ポケットパーク・ベンチの整備 ● エリア内の交通規制、乗り入れルールの検討 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市 ● 市 ● 市

